令和４年度　あけぼの支援学校

進路だより

No.2

学校ホームページ
QR コード

文責　網野

令和４年６月３０日　発行　**あけぼの支援学校進路指導係**

第Ⅰ期現場実習を終えて

校　長　小田切　一博

２週間の現場実習は大変お疲れ様でした。生徒のみなさんは、卒業後の具体的な目標や進路先をもって実習に参加した人、自分にとってどんな進路先が良いのかを探るために実習に参加した人、卒業後を見据えて必要とする仕事に対する態度や社会の人との関わり方の姿勢を学ぶために参加した人など、様々な目標や思いをもってこの実習に取り組みいろいろな経験を得ることができたと思います。また、学校の友達や先生以外の社会の人とのかかわりも広げることができたと思います。是非、実習を振り返り、どんなことがわかったのか、どんなことができたのか、どんなことにこれから取り組んでいきたいのかを、保護者の皆さんや担任の先生と振り返ってほしいと思います。振り返りをする時によく、失敗したことやうまくいかなかったことなどの課題や反省をすることが多くありますが、それ以上に、うまくいったこと、ほめられたこと、それらがどうしたらうまくいったのか、どう考えて取り組んだらできたのかを見つけてください。きっと、その中には皆さんの強みやこれから自分の進路について考えるためのヒント、社会の中で生きていくための武器が隠されていると思います。現場実習にあたっては、実習先の多くの方々のお世話になって実習が行えました。是非、この貴重な現場実習の機会に感謝し、今後の学校生活に生かしていってほしいと思います。

進路指導係より

今号では5月３０日（月）～6月１０日（金）に行われた令和４年度第Ⅰ期現場実習の様子をお伝えします。文章の中には生徒本人が実習を振り返り、感じたことや気づいたことを書いたものもあります。是非、御一読いただき、実習の様子を少しでも知っていただければと思います。

また、今期の実習におきましては、コロナ禍のため人との接触が難しい状況でしたが、保護者の皆様、実習受け入れ先の皆様のご協力により、無事に実習を行うことができましたこと、改めてお礼申し上げます。

１１月には、第Ⅱ期現場実習が予定されています。その際の新型コロナウイルス感染症の状況がどのようになっているかは分かりませんが、校外での実習を行う貴重な機会と捉え、安心して実施できるよう取り組んでいきたいと考えます。

第Ⅰ期現場実習の様子

「市川三郷町役場」で一週間、実習を行いました。ミシン目に沿って紙を切る作業、電動ホッチキスを使った資料綴じ、パソコン入力、ハンコ押し、封筒にシールを貼る作業をしました。目標であった「自分から報告・質問・依頼をする」や「周りの人とコミュニケーションをとる」ことが出来ました。実習時間は前回より長い時間でした。しかし、疲れることなく仕事を最後まで行い、作業を工夫してスムーズに取り組むことが出来ました。実習を通して、職員の方の電話対応・接客の様子を拝見しました。私は職員の方に比べ、コミュニケーション力や経験が浅いことを実感しました。学校生活で、コミュニケーションの向上や、様々な経験を重ねていきたいと思います。

生活介護事業所「ひびき」にて 3 日間実習に行ってきました。見たことのある職員さんや利用者さんも複数いる実習ではありましたが、初めて 1 日過ごす場所ということもあって緊張感の見られる様子でした。活動は、リハビリ、映画鑑賞、創作活動、ハンドマッサージと落ち着いてゆったりと過ごすことができました。活動では、職員さんの問いかけに顔の動きや指で気持ちを伝えることができました。緊張しながらも「おはようございます」、「ありがとうございました」と自らの言葉で伝えることもできました。職員さんとも落ち着いてお茶や食事を一緒に摂ることができました。少しずつ自分らしさを出せるようになり、実りある実習になりました。

「南アルプス市役所」では、封入作業やパソコン入力をしました。自分から報告をすること、集中して作業をすることができました。「ヤマト運輸」では、Excel を使った入力、ラミネート作業、名札の仕分けを行いました。3 つの部署で仕事を行い、それぞれ作業を覚えることが大変でしたが、分からないことを質問して進めることができました。また、今回の実習では手際よく作業することを意識して行うことができました。報告などは自分からすることができるのですが、自分から話題を振って会話をすることができませんでした。これからの学校生活では、聞かれたこと以外に自分から相手に話題を振ってコミュニケーションを取っていきたいと思いました。

初めの実習先の「おひさま」では、クッキーの生地作りやボッチャ等の活動、入浴体験といった様々な活動をしました。又、集団活動の場でのコミュニケーションを取る経験を積むことができました。充実した五日間でした。次の実習先の「南アルプスかおりの家」では、午前午後ともにナゲットソースのフィルム剥がし作業を行う中で、自分なりに工夫をして改善に努めることができました。サクランボ狩りや入浴体験等も経験できました。幅広い年齢層の利用者や支援員の方々とコミュニケーションを取ることで、楽しくも充実した五日間になりました。以上、計十日間の現場実習を無事行うことができました。

デイサービス「ワーカウト羽黒」に３日間、ぎんが福祉会「おひさま」に２日間、障がい福祉サービス事業所「コスモス通所」に２日間、生活介護事業所「WaiWai」に３日間、４か所の事業所に行きました。初めての場所もあり緊張した様子も見られましたが、最終的にはとても充実した現場実習になりました。作業では、ポケットティッシュへの広告入れやクッキーの袋詰めをしました。入れ方を自分で工夫して、支援員さんに提案することができ、ほめていただくことができました。余暇活動では、ベビーカステラ作りや散歩、制作活動など意欲的に活動することができました。「いつでも、どこでも、だれとでも」を合言葉に、活動の幅を広げていくことが課題です。

生活介護事業所「WaiWai」に４日間、障害者福祉サービス事業所「みどりの家」に３日間、ぎんが福祉会「おひさま」に３日間と、３か所の事業所に行ってきました。２度目の実習ということもあり、最初から落ち着いて過ごすことができました。作業では、自分で考えたり工夫したり、分からないことは質問しながら参加することができました。また、余暇活動ではおもいっきり楽しむなど、たくさんの経験を積むことができました。今回の実習は、前回課題であった、「自分の気持ちを大きな声で伝える」を目標にしていました。その目標をしっかり意識し、どの事業所でも職員さんや利用者さんに自分から声をかけ、積極的にコミュニケーションをとることができていました。

「みどりの家」に３日間、「おひさま」に２日間、「WaiWai」に２日間、計 7 日間実習に行きました。「みどりの家」では、前年度のⅡ期に２日間実習で行った経験もあり、２日目、３日目は付き添いなしで実施できました。紙のシャインマスカット作りや散歩、ヨーヨーに模様を付ける活動に参加しました。「おひさま」では映画鑑賞やクッキー作り、「WaiWai」では散歩やベビーカステラ作りに参加しました。各実習先ともに１日目の朝は緊張していたようでしたが、施設職員とのやり取りを積み重ねることで、落ち着いて各活動に取り組むことができました。また、調理活動では自分から生地を見ながら手を動かす様子も見られました。

「おひさま」に２日間実習に行きました。初日の活動は午前中に自治会の話し合い、午後にベンチホッケーというゲーム性のある活動をしました。ベンチホッケーでは、利用者の方々や施設職員さんの応援する声や歓声を聞いて、ゆうりさんも右手を動かして盛り上がっていました。２日目の午前中は逆ビンゴゲームをしました。お題に合わせて個々にビンゴカードを作り、先にビンゴした人が負けという面白いゲームでした。ゆうりさんは、お題の「キャラクター」に対して発表されるキャラクター名を真剣な表情で聴いていました。午後は創作活動でアジサイを作りました。右手でお花紙を握ったり放したり、土台をよく見て張り付けたりすることができました。出来上がりに満足して笑顔でうれしさを表現することができました。充実の２日間を過ごすことができました。

「きぼうの家」「山梨県育精福祉センター」で実習をさせていただきました。きぼうの家では、利用者さんの歌を聴いて一緒に体を揺らして音楽を楽しむことができました。給食がとっても美味しかったようです。特に牛乳パンが美味しかったとのことでした。育精福祉センターでは、職員の方が想亜羅さんの好きな写真カードを準備してくれたので、写真カードをきっかけに利用者の方と楽しく過ごすことができました。スタッフの方も利用者さんも沢山話をしてくれて終始笑顔でした。「緊張しなくて楽しかった。」と振り返りで教えてくれました。

「あけぼの医療福祉センター生活介護チェンバロ」で三日間、「生活介護事業所ひびき」で一日の実習をさせていただきました。はじめは緊張している様子でしたが、スタッフの方々のやさしい声掛けですぐに雰囲気に慣れ、少しずつ表情も和らいでいきました。チェンバロでは、魚釣りゲーム、制作活動、お誕生会に参加させてもらいました。ひびきでは、顔や体のストレッチ、すごろくに参加させてもらいました。どの活動も、手をたくさん動かして笑顔いっぱいで楽しく取り組むことができました。また、スタッフの方や利用者の方とたくさん声を出してお話をすることもでき、とても充実した実習でした。

校内実習の様子

第Ⅰ期現場実習の期間中、学校に残った１年生は校内実習に取り組みました。毎年、北杜市にある「友の丘」様よりお貸しいただいているナゲットソースのフィルム剥がし作業を行いました。フィルムを剥がすだけの単純作業と思われがちですが、少しの取り残しもないように取り組まなければならないので細心の注意が必要です。しかも、限られた時間の中で沢山の量をこなさなければならなかったため、作業経験の少ない１年生には大変だったかと思います。最終的にはお借りした分は、検品を含めて全て作業完了でき、友の丘様にお返しすることができました。また、①グループでは、事務アシスタント作業の一環として、宛名シールの作成と貼り付け、アンケート書類の綴じ込み作業なども行いました。第Ⅱ期では、１年生も校外での実習をすることになります。今回の経験が少しでも役に立ち、円滑な実習ができるように願っています。